

養殖ブリ、入荷減か



養殖のブリに欠かせない幼魚の漁（モジャコ漁）が今年は大不漁に陥っています。例年3月下旬から始まり、5月には終漁しますが、全国のモジャコ採捕計画をもつ14県における漁獲実績は計画の15・1%にしか届いていないそうです。日本一のブリ養殖産地、鹿児島においても予定の36%強ほど。これから夏が終わり秋を迎える頃、養殖カンパチから養殖ブリに切り替え時期を迎えますが、安定供給に「黄色信号」です。一部の養殖産地は出荷調整を行い、出荷停止に踏み切る可能性があります。



ウナギ販売動向(本年、土用の丑の日)

水産経済新聞社が行った、2021年の夏の土用丑の日（7月28日）のウナギ販売動向調査によると、新型コロナウイルスによる巣ごもりや先安観から若干値を下げていたため急増していた前年ほどの勢いはなかったものの、ほぼ遜色のない売れ行きだったようです。調査対象は量販店、スーパーの主要各社。ちなみに豊洲の昨年5~7月は（2019年比で）6割増。

入荷状況 & 商品情報



いよいよ9月1日（水）より**底引き漁が解禁**となります。店頭には**2日（木）**から商品が並びます。海の状況次第ですが、昨年並みの入荷が見込めるのではないかとのことです。魚の脂ものりはじめ、一段と美味しくいただける季節です

●**底引き網漁**の解禁で魚種も増えてきます。甘エビ、ガスエビ、シマエビといったエビ類、毛ガニ、カレイ類、メギス、ミズウオなど（写真は左上から時計回りにアマエビ、ガスエビ、メギス、ミズウオ）

●**養殖ブリ**供給量が減少する可能性があります。強含みの推移が見込まれます。天然物にシフトする可能性も。今後の動向に注意です。

9月の主な魚種

甘エビ
シマエビ ◎
ガスエビ ◎
赤カレイ
ササカレイ
ハチメ
メギス ◎
ミズウオ ◎
ハタハタ



●商品価格等は各担当者にお問い合わせください。